

## 『第1回おしぼりエコマイスター講習会が開催されました!』

去る10月8日(水)に上野の東京文化会館にて、東日本おしぼり協同組合主催の第1回『おしぼりエコマイスター講習会』を実施いたしました。

2008年は、京都議定書約束期間のスタート、洞爺湖サミットの開催など環境問題が改めて広く認知された年であり、特にCO2の排出削減は国・企業をあげて取り組むべきテーマとして注目されております。

そうした中、東日本おしぼり組合は、以前より事業として「レンタルおしぼり」というリユースの代表的なサービスを提供することで環境負荷低減に貢献してまいりましたが、業界団体として更なる環境貢献を実践していくための人材育成の一環として『おしぼりエコマイスター制度』を創設し、継続的な取り組みとしてスキルアップ講習会を開催することとなりました。第1回目は、環境コンサルティング会社である(株)環境総合研究会より講師を招き、地球温暖化問題に関する基礎知識、おしぼり業界における環境対応、PETキャップ運動による社会貢献活動などについての講習を行いました。

雨天にも関わらず、15社20名のメンバーが参加しおよそ2時間ほどの講習に熱心に耳を傾けておりました。

(講習会の模様)



講習会は年4回を予定しており、今後はリサイクル問題、省エネ、排水など実業務に関連する環境対応や、環境マネジメント(環境認証)、環境を通じた社会貢献など実践的に役立つプログラムを行っていく予定です。

最終的には「エコマイスター」が所属先の各企業で活躍できる人材となり、また業界全体としての環境貢献を実践していくリーダーとなるよう、制度の充実をはかっていきたいと考えております。

以上